

ソフトウェア説明書

GKit.NET Spreadsheet for WebForm V1.0

修正モジュール 1.0.20.1

◆はじめに

本ソフトウェア説明書では、GKit.NET Spreadsheet for WebFormの修正内容、およびインストール方法等の情報を説明します。

◆インストール方法

1. 修正モジュールの書庫を解凍してください。
2. 安全のため、GKit.NET Spreadsheet for WebFormのインストールフォルダ配下のモジュールをバックアップしてください。
3. 1で解凍したモジュールをGKit.NET Spreadsheet for WebFormのインストールフォルダ配下のモジュールと置き換えてください。

※ウェブアプリケーションを既に開発中の場合は、アプリケーションフォルダでスクリプトファイル(HTC)の入れ替えを忘れずにおこなってください。モジュールを入れ替えた後に、必ずリビルドをおこなってください。

◆ライセンス例外の対処方法

モジュールを入れ替えてリビルドした後に、ブラウザでページを開くとライセンス例外が発生する場合があります。
その場合は以下の対処方法をお試し願います。

ーアプリケーションのリビルドが正しく完了していることを確認してください。
「ビルド」ではなく「リビルド」ですので注意してください。

ーオペレーティングシステムを再起動して再度確認してください。

◆Windows Vistaの制限事項

クライアント環境がWindows Vistaの場合、以下の制限事項にご注意ください。

ーAutoEditがtrueのとき、セル移動の速度が遅くなります。
AutoEditがfalseのときは、遅くなる問題は発生しません。

◆履歴

2007/08/08 1.0.20.1

ー著作権表示の年を更新しました。

2007/04/06 1.0.10.20R2

ーこのバージョンよりクライアント環境でInternet Explorer 7およびWindows Vistaをサポートします。
Windows Vistaで利用する場合は、「Windows Vistaの制限事項」をご覧ください。

2006/06/22 1.0.10.20

—Visual Studio 2005でデザインフォーム上に表示したとき、セル内にチェックボックスが表示されてしまう問題を修正しました。

2006/04/24 1.0.10.19

—複数のラジオボタンをグループ化できるようにしました。
(RecordCell.RadioButtonGroupName、RecordItem.RadioButtonGroupName)

—セルを無効化(Disabled)したときでも、データをサーバーに送信できるようにしました。

—リセットボタンを押したときに、表示データと実データの整合性が失われる問題を修正しました。

2006/04/01 1.0.10.18

—コンテキストメニューを非表示にできるようにしました。
(GKitSpread.EnableContextMenu)

—ソート時に背景色を入れ替えれるようにしました。
(GKitSpread.BackColorSwapOnSort)

2006/03/16 1.0.10.17

—テーブルの高さをパーセントで指定したとき、特定の条件でブラウザを最大化すると、描画が正しくおこなわれない問題を修正しました。

2006/03/10 1.0.10.16

—ページの読み込み時、レコード行の高さを自動調整できるようにしました。

2006/03/10 1.0.10.15

—Visual Studio 2005に対応しました。
(標準準拠モードには対応してないのでご注意ください)

—複数行表示したとき、行ヘッダのテキストが正しく表示されない問題を修正しました。

—複数行表示したとき、チェックボックスとラジオボタンのフォントが有効にならない問題を修正しました。

—レコード行の高さをパーセント指定できるようにしました。

2006/01/31 1.0.10.14

—コレクションクラスにおいて、コレクションの要素が2のとき、Swapメソッドが正常に動作しない問題を修正しました。

2006/01/10 1.0.10.13

—行の高さがレコード単位で設定できるようになりました。

—編集時のテキスト型セルは無効化(灰色表示による操作の禁止)できないようになりしました。

—クライアント制御関数を拡張しました。
forceClose()
cancel()

2005/12/20 1.0.10.12

—セル部品を無効化(灰色表示による操作の禁止)できるようになりました。
(RecordRow.Enabled、RowRecordItem.Enabled、RecordCell.Enabled、
RecordItem.Enabled、getDisabled(row, col, rec)、
setDisabled(row, col, rec, disabled))

2005/12/15 1.0.10.11

—一行とセルの背景色やフォント色などがレコード単位で設定できるようになりました。

(RecordItem.NavigateUrl、RecordItem.BackColor、RecordItem.ForeColor、
RowRecordItem.BackColor、RowRecordItem.ForeColor)

—WriteProtectOnErrorがtrueに設定されているセルに、フォーマットエラーになるテキストをペーストしたとき、実テキストが変更されてしまう問題を修正しました。

—ボタнтаイプにBothを指定して、SubmitとButtonの両機能を兼ね備えたボタンが使用できるようになりました。
(ButtonType.Both)

2005/12/01 1.0.10.10

—InputCssClassがハイパーリンクに反映されるようになりました。

—クライアント制御関数のformatCheckAll()で空白文字列のチェックがされない問題を修正しました。

—パスワード制限のセルでAutoEditがfalseのとき、セルの編集をクローズするとフォーカスが失われる問題を修正しました。

—AutoEditがfalseのとき、セルの編集をキャンセルするとスクロールバーがリセットされる問題を修正しました。

—テーブルの横幅を100%にしたとき、描画が正しくおこなわれない問題を修正しました。

—レコード部にソート対象のセルが存在しないとき、ソートを実行するとスクリプトエラーになる問題を修正しました。

—クライアント制御関数のsetText()を使用したとき、そのセルのソートが正しくおこなわれない問題を修正しました。

—HTMLに出力する改行コードを"LF"より、System.Environment.NewLineに変更しました。

2005/11/09 1.0.10.9

—ペーストしたとき、エラーセルの背景色に変更されない問題を修正しました。

—AutoEditがfalseのとき、セルの編集をクローズするとフォーカスが失われる問題を修正しました。

2005/11/07 1.0.10.8

—InitFormatCheckがfalseのとき、formatCheckAllが呼ばれない問題を修正しました。

—ペーストのリピート時に重複して処理が発生する問題を修正しました。

—パスワードのセルを閉じたときに、フォーカスを失う問題を修正しました。

—状態によるペーストが有効のとき、文字列をチェックボックスにペーストする

と、onCheckBoxChangeイベントが発生する問題を修正しました。

2005/09/09 1.0.10.7

—クライアント制御関数を公開しました。

```
getText(row, col, rec)
setText(row, col, rec, text)
getCheck(row, col, rec)
setCheck(row, col, rec, check)
getSelectedNumber(row, col, rec)
getSelectedNumber(row, col, rec, index)
getSelectedText(row, col, rec)
setSelectedText(row, col, rec, text)
setBackColor(row, col, rec, color)
getCellType(row, col, rec)
copy()
paste()
cut()
del()
isOpened()
close()
clear()
formatCheckAll()
onTextChange(row, col, rec)
onCheckBoxChange(row, col, rec)
onRadioButtonChange(row, col, rec)
onDropDownListChange(row, col, rec)
onButtonClick(row, col, rec)
doFilter(row, col, rec, text)
doSortAsc(row, col, a, b)
doSortDesc(row, col, a, b)
```

—一行と列のサイズ変更禁止ができるようになりました。
(GKitSpread.AllowUserResizing)

—自動編集モード(AutoEditが有効)のとき、テキスト型のセルで文字キーを入力すると既存のテキストを削除して編集を開始するようにしました。
IMEが全角のときでも、正しく入力できるようにしました。
編集中にEscキーで編集を中断できるようにしました。

—ボタンを押したときに、クライアントでイベントを発生させるタイプを追加しました。(RecordCell.ButtonType、ButtonType)

—入力部品にスタイルシートを設定できるようにしました。
(RecordCell.InputCssClass)

—1レコードのテーブルを快適に扱えるよう選択方式にテーブルモードを追加しました。(SelectMode.TableMode)
1レコードテーブルに対して、チェックボックスやリストのデータ設定を簡単におこなえるようRecordCellにCheckとSelect属性を追加しました。
(RecordCell.Check、RecordCell.Select)
リクエストで先頭レコードのデータをRecordCellにコピーするメソッドを追加しました。(GKitSpread.CopyRequestToRecordCell)

—マウスの右クリックでコンテキストメニューを表示できるようにしました。
コンテキストメニューではコピー、ペースト、切り取り、削除ができます。

—Copy、Paste、Cut、Delete、Editの操作をセル単位で制限できるようにしました。
(RecordCell.AllowCopy、RecordCell.AllowPaste、RecordCell.AllowCut、RecordCell.AllowDelete、RecordCell.AllowEdit)

—状態によるコピーアンドペーストをできるようにしました。

(GKitSpread.CopyPasteMode)
チェックボックスやドロップダウンリストの状態のコピーアンドペーストができます。

- ペーストのリPEAT機能をサポートしました。(GKitSpread.RepeatPaste)
- 高度な書式指定ができるようになり、実テキストと表示テキストの分離が可能になりました。(RealFormat、ViewFormat)
テーブル初期化時にエラーチェックができるようにしました。(InitFormatCheck)
日付のフォーマットを和暦対応しました。(gee/mm/dd、ggge年m月d日)
金額のフォーマットを拡張しました。(#.##0、0)
- カスタムフィルタリング機能により、ユーザー独自のエラー処理を記述できるようにしました。(Restriction.Custom)
- 入力エラー時に背景色を変更できるようにしました。(GKitSpread.ErrorColor、GKitSpread.ChangeColorOnError)
入力エラー時でもセルのクローズをできるようにしました。(GKitSpread.WriteProtectOnError)
- 編集開始、編集終了時の動作を設定できるようにしました。(OpenCellMode、CloseCellMode、GKitSpread.OpenCellMode、GKitSpread.CloseCellMode)
- Textプロパティを利用することにより、レコードごとにリストアイテムを設定できるようにしました。
- 比較関数のフィルタリングにより、ユーザー独自のソート処理を記述できるようにしました。
- Home、Endキーで左端、右端に移動できるようにしました。(HomeAndEndKeys、GKitSpread.HomeAndEndKeys)
- Ctrl+方向キーで、テーブルの端に移動できるようにしました。
- 枠線を詳細に設定できるようになりました。
GKitSpreadクラスにCellBorderStyleプロパティが追加されました。
以下のプロパティは、HeaderRow、HeaderCell、RecordRow、RecordCellクラスに追加されました。
(BorderColor、BorderStyle、BorderWidth、BorderTopColor、BorderTopStyle、BorderTopWidth、BorderBottomColor、BorderBottomStyle、BorderBottomWidth、BorderLeftColor、BorderLeftStyle、BorderLeftWidth、BorderRightColor、BorderRightStyle、BorderRightWidth)
- String型プロパティでデフォルト値がnullのものをEmptyに変更しました。
RecordItem.TextがEmptyのとき空白文字列が表示されましたが、RecordCell.Textに従うように変更しました。
- セルをダブルクリックし、編集状態に移行したときにテキストが選択状態になるように変更しました。
- 複数行表示した結合セルで、表示がずれたときに固定部と移動部の行高を合わせるように修正しました。
- ページを読み込んだ直後は、セルにカーソルを合わせないよう修正しました。
- テーブルの外の部品からTab移動したときは先頭のセルにカーソルを合わせ、Shift-Tab移動したときは最後のセルにカーソルを合わせるようにしました。
- ヘッダ列と固定列が存在しないとき、テーブルの左端に1ピクセル分の空白が表示される現象を修正しました。

- －プロパティウィンドウの分類を見直しました。
- －スプレッドデザイナーのプロパティウィンドウのサイズを変更できるようにしました。
- －テーブルの端のため方向キーで移動ができなかったとき、画面がチカチカする現象を修正しました。
- －空白のセルをコピーアンドペーストできるように修正しました。

2005/08/18 1.0.10.6

- －ヘッダー一部のセルにテキストフィールドやドロップダウンリストを表示できるようにしました。(HeaderCell.HtmlEncode)
- －セルタイプにハイパーリンク型とカスタム型を追加しました。(CellType.HyperLink、CellType.Custom)
- －行とセルの背景色で、特定のレコードに対して設定できるようにしました。(RecordRow.BackgroundColorItems、RecordCell.BackgroundColorItems)
- －セルのテキストを折り返して複数行表示できるようにしました。(HeaderCell.NoBreak、RecordCell.NoBreak)
- －選択方式で「選択なしモード」を追加しました。(SelectionMode.NoSelectionMode)
- －タブキーの押下でフォーカスがテーブルの外側に出るようにしました。テーブルにタブインデックスを設定できるようにしました。(GKitSpread.TabIndex)
- －ラベル、ボタン等のテキストの永続化を無効にできるようにしました。(GKitSpread.DataSend)

2005/07/21 1.0.10.5

- －ボタンのテキストにアンパサンド、クォート等を含む文字列が正しく表示できない問題を修正しました。

2005/05/20 1.0.10.4

- －ボタンとドロップダウンリストのテキストのフォント情報と文字色を変更できるように修正しました。

2005/04/18 1.0.10.3

- －ボタンクリックイベントが2回発生する問題を修正しました。

2005/03/28 1.0.10.2

- －シングルクォートを含む文字列が正しく表示できない問題を修正しました。
- －ポストバックしたとき、HTMLの特殊文字(シングルクォート、アンパサンド)を含む文字列が正しく表示できない問題を修正しました。
- －HTMLをフレーム分割して表示したときに、ソートメニューの表示がずれる問題を修正しました。

2005/03/14 1.0.10.1

- －新規モジュールです。